

項目	内容
名称	カフェー酸、コーヒー酸、カフェ酸、カフェイン酸 [英]Caffeic acid [学名]-
概要	カフェー酸は、ケイ皮酸にふたつの水酸基が結合したポリフェノール類のひとつで、コーヒー、ココア、りんご、サツマイモ等に含まれることで知られている。多くの植物では、配糖体、エステル、遊離体とさまざまな形で存在し、フェニルアラニンもしくはチロシンからつくられる。植物の代謝過程に関与し、リグニンの生合成に関わる。
法規・制度	■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none">・分子式：C₉H₈O₄、分子量：180.16。・別名：3,4-Dihydroxycinnamic Acid・植物中では、ポリフェノール類の一成分として配糖体、エステル、遊離体として存在している (101)。・キナ酸とエステル結合したものが、クロロゲン酸 (5-O-caffeoylquinic acid) である (101)。
分析法	・80%エタノールで抽出したカフェー酸をHPLCで分析した報告がある (101)。
有効性	

ヒ ト で の 評 価	循環器・呼吸器	調べた文献の中には見当たらない。
	消化系・肝臓	調べた文献の中には見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中には見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中には見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中には見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中には見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中には見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中には見当たらない。
	肥満	調べた文献の中には見当たらない。
	その他	調べた文献の中には見当たらない。
参考文献	(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (101) 食品機能性の科学 産業技術サービスセンター (PMID:25685784) Biomed Res Int. 2015;2015:387918. (PMID:21222608) Med Chem. 2011 Mar;7(2):99-105. (PMID:21697612) Drug Metab Pharmacokinet. 2011;26(5):486-93.	